

平成 29 年度 横浜市今宿地域ケアプラザ事業実績評価

平成 29 年度の評価	
全事業共通	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターに欠員が生じた期間がありました。職員体制の安定化を図ってください。 ・地域包括支援センターで支援している方を地域活動交流の自主事業や自主活動グループに紹介したり、地域活動交流の事業の参加者から支援が必要な方が地域包括支援センターにつながったケースがありました。今後は、生活支援体制整備事業も含めた5職種（地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師）が連携を強め、生活課題を抱える方をケアプラザ全体で支援するケースが増えてくることを期待します。 ・地域ケアプラザの総合相談機能（高齢者だけでなく子育てや障害児・者等も含めた福祉保健に関する身近な相談窓口）が地域に浸透するようPRをお願いします。
地域活動交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・積極的な情報発信と工夫したPRでケアプラザの認知度が上がり、施設利用率の向上にもつながっています。特にホームページ「いまじゅくケアプラザ日記」は毎日更新されており、ケアプラザの最新の様子と様々な活用のしかたが伝わるツールとして高く評価できます。 ・2025年問題を見据えて地域の中で見守り、支えあう仕組みづくりが急務となっています。地域包括支援センター及び生活支援体制整備事業との連携を強め、地域の福祉課題を把握・共有し、地域課題の解決につながるような具体的な取組・事業が実施されることを期待しています。
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・今年度は新たな人材発掘と活動機会の創出に尽力されました。今後は、これまでの取組を継続するとともに、丁寧なアウトリーチにより地域ネットワークの充実を図り、地域住民と地域ニーズの共有・意見交換できる場づくりを意識して事業を進めていただく事を期待します。
地域包括支援センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・高齢者の権利擁護について、成年後見制度の講演会や相談会だけでなく、申立支援についても、迅速、丁寧に対応されています。 ・「オレンジCafeのぞみ」との共催を含め、日頃から地域の支援者、関係団体との連携に努め、地域に根付いた活動が行われています。当事者が増えない、固定化している等の課題もありますが、他地区のカフェとの連絡会等、横のつながりの支援についても期待します。
<p>< 評価 (S/A/Bの3段階) ></p> <p style="text-align: center;">A</p>	